



日増しに暖かになりましたが、リバーキーパーズの皆様方がお過ごしですか。年度末で何かと気忙しい時期ですが、体調には十分留意してお過ごし下さい。

今回は、2月27日に行われました「ホタル幼虫・稚魚放流」の報告と「外来生物に注意」についてお知らせします。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしご意見をお寄せください。

キーワード: イベント報告

○ホタル幼虫・稚魚放流

2月27日(土)土器川生物公園において、ホタルの幼虫・稚魚の放流が行われました。

当日は地元の子供たちと保護者ら合わせて約80名の参加者が、この日のために育てた **ゲンジボタルの幼虫約600匹**とホタルのエサとなる**カワナ**や、丸亀市淡水漁業組合より提供頂いた、**フナ、メダカ、ワキン、モロコ**など**約5000匹**を「大きくなってね」と祈り、元気よく放流しました。



○トピックス「ゲンジボタルとヘイケボタルの違い」



ホタル といえば、**ヘイケボタル** と **ゲンジボタル** が有名ですが、生態的にも見た目にもよく似ています。

その違いを表にまとめてみました。ホタルは高い山を超えたり、海を渡ることができないため、各地域で明滅周期が異なっています。

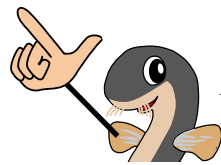


大きさの違い

出典 { 塩江ゲンジボタルの観察と飼育 塩江音知会
私の昆虫記2 ホタルが教えてくれたこと 矢島稔
ホタルの郷 大場信義

	ヘイケボタル	ゲンジボタル
分布	九州から北海道、東シベリアや韓国にも分布	日本のみ分布
成虫の発生時期	6月中旬～7月下旬	5月中旬～下旬
幼虫のエサ	カワナやそれ以外の貝、モノアラガイやタニシ・シジミ、ミズの死骸やドジョウなど	カワナ
成虫の大きさ	体長 10～12mm 幅 4～4.5mm	体長 14～21.6mm 幅 5.3～6mm
胸の文様	黒い縦の文様 	黒い十字型の文様 
成虫発光の明滅周期	1秒前後	西日本型2秒、中間型3秒、東日本型4秒

キーワード: 外来生物に注意



外来生物とはもともと地域にいなかったのに海外から入ってきた生物のことです。念のため…

○概要

日本の川には、さまざまな種類の外来種がたくさん入ってきて問題となっています。外来種が在来種やわれわれの生活に与える影響を具体的に紹介していきます。私たちはどういった事に注意して、この外来種問題を取り組むべきかを考えてみましょう。

川に外来種が入ってしまうとどうなるの？

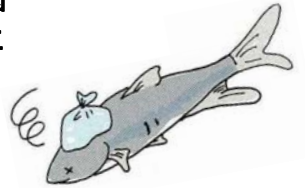
①在来種を追いやってしまう

オオブタクサやアレチウリ、セイタカアワダチソウなどの植物は、在来の植物においかぶさったりして、その植物を枯らしてしまうことがあります。



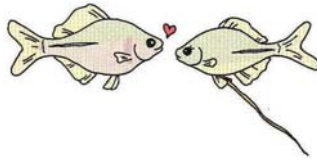
②在来種に寄生したり、病気の原因になってしまう

外来種の中には、病気の原因になるものや、ほかの生き物に寄生して生きる種類があります。そのため、外来種が原因で、在来種が病気にかかってしまうことがあります。



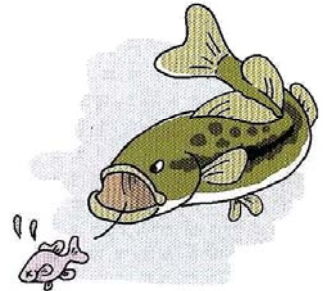
③在来種と交わり、その血筋を絶やしてしまう

たとえば、外来種のタイリクバラタナゴは、在来種のニッポンバラタナゴとの間に、自然にはおこらない雑種をつくることがあります。



④在来種を食べて、その数を大幅に減らしてしまう

オオクチバスやコクチバスなどは、在来種を食べてしまいます。このため、大幅に数が減ってしまった在来種もいます。



⑤もともとの自然の環境を変えてしまう

シナダレスズメガヤは大きな株をつくるため、洪水のときに流れてきた砂を、根元にためてしまうことがあります。このため、もともと石の河原の暮らしている生きもののすむ場所がなくなってしまうことがあります。



人間の生活にはどんな影響があるの？

①治水・利水へ影響を与える

ハリエンジュなどの木が川にたくさん生えてしまうと、洪水の時に水の流れが変わったり、水が流れにくくなって危険です。また、ホテイアオイなどの水草が大発生して、水門や排水ポンプが動かなくなることもあります。



②漁業へ影響を与える

オオクチバスなどが在来魚を食べたり、そのエサをうばってしまうと、在来魚が減ってしまい漁師さんたちが困ります。また、ホテイアオイなどの水草が水面をおおってしまったために、船が進みにくなるなどの被害が出ています。



③花粉症を引き起こす

キク科のオオブタクサや、イネ科のネズミムギ、カモガヤ・オオアワガエリなどの外来植物は、大量の花粉を飛ばして、あのイヤな花粉症を引き起こします。



④人に危害を与える

たとえば、カミツキガメはアゴの力が強くて気があらく、かみつかれると大ケガをする恐れがあります。



○外来生物法

外来生物法では、生態系、人の生命・身体、農林水産省に悪影響を与えるもの、与えるおそれのある侵略的な外来生物を**特定外来生物**として指定し、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などを規制し、必要に応じて防除することにより、侵略的な外来生物の被害を防止することを目的としています。

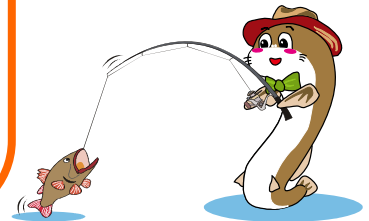
外来生物被害予防3原則

1. **入れない**
～悪影響を及ぼすかもしれない外来生物を日本に入れない
2. **捨てない**
～飼っている外来生物を野外に捨てない
3. **広げない**
～野外にすでにいる外来生物は他地域に広げない

特定外来生物は飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つことなどが原則として禁止されます

※これらの項目に違反した場合、最高で個人の場合3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、法人の場合1億円以下の罰金が科されます

土器川でブラックバスやブルーギルを釣った場合、飼育したり、運んだりしてはいけません！



○土器川の特定外来生物

土器川においては、現在205種の外来種が確認されています。このうち、土器川の特定外来種は**ブラックバス**、**ブルーギル**、**ウシガエル**、**アレチウリ**、**オオフサモ**、**オオキンケイギク** の全6種が確認されており、特に注意が必要です。

今後、外来生物の持ち込みの予防や駆除に取り組み、自然環境の保全が必要です。土器川に外来種をこれ以上増やさないためにも、土器川流域にお住まいの皆様のご協力をお願いします。



ブラックバス(オオクチバス)

在来の種を食べてしまう大型の肉食魚であり、漁業への影響も深刻



ブルーギル

雑食性で何でも食べるが、なかでも魚の卵を好むので、漁業への影響も深刻



ウシガエル

環境の変化に強く肉食性で、在来種の鳥類や小型のほ乳類までも捕食する



アレチウリ

ツルで在来種に巻き付き、密生するため、日が当たらず、その植物を枯らしてしまう



オオフサモ

過繁茂した群落が水流を妨げる等の問題を引き起こすことがある



オオキンケイギク

繁殖力が強く、荒地で強いため、河原などで繁殖し、在来種と競合する

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒761-0104 高松市高松町2422-1
TEL:087-844-4315(計画課直通) FAX:087-843-2935

